

### 1. 本授業科目の基本情報

講義名 (コード)	TGB103A	TGB_ビジネスマナー I_A		
科目名 (コード)	TGB103	TGB_ビジネスマナー I_A		
対象学科	グローバルビジネス学科		配当学年	1年生
対象コース	GB1		単位数	2単位30
授業担当者	浅沼 涉		時間数	
成績評価教員	浅沼 涉		講義期間	春期
実務者教員			履修区分	必修
実務者教員特記欄				

### 2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	人間力における、社会人教育分野の学びの中で、学生が自己理解、管理能力向上の基礎を理解し、ビジネス実務マナー知識の習得、及び演習を通してビジネス社会の基本ルールを理解できるようになる。
全体の内容と概要	ビジネスマナーにおける基本的な知識を学び、ビジネスマナーにおける実践力、社会人としてのマナーを身につける。ビジネス実務の遂行に必要な一般知識の習得、業務遂行を行うのに必要な技能の取得を目指す。自
授業時間外の学修	授業開始までに、必ず一読してくる。復習課題としてレポートの提出を求めています。
履修上の注意事項等	マナーの授業であると心得、授業中の態度、及び言葉遣い等に気をつけること。

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	自己紹介・講義内容説明・基本英語学習	英語で自己紹介、講義内容と評価方法を説明。日本の義務教育で学んできた英語よりさらにレベルアップした実践英語の学習法について説明
2	Session 1: 1 日本人と働く心構え	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ 教科書の基礎知識を学ぶ
3	Session 2: 1 日本人と働く心構え	宿題確認 日本での基本ビジネスマナーを学ぶ ケーススタディを学ぶ
4	Session 3: 2 上司・先輩との付き合い方	日本での団体行動と会社での付き合い方 教科書の基礎知識を学ぶ
5	Session 4: 2 上司・先輩との付き合い方	宿題確認 日本での基本ビジネスマナーを学ぶ ケーススタディを学ぶ
6	Session5: 3 同僚との付き合い方	日本での団体行動と会社での付き合い方 教科書の基礎知識を学ぶ
7	Session6: 3 同僚との付き合い方	宿題確認 日本での基本ビジネスマナーを学ぶ ケーススタディを学ぶ
8	Session 7: 4 就業時間外の付き合い方	会社での人間関係 教科書の基礎知識を学ぶ
9	Session 8: 4 就業時間外の付き合い方	宿題確認 日本での基本ビジネスマナーを学ぶ ケーススタディを学ぶ
10	Session 9: 5 ウチとソトの関係	会社での人間関係 教科書の基礎知識を学ぶ
11	Session 10: 5 ウチとソトの関係	宿題確認 日本での基本ビジネスマナーを学ぶ ケーススタディを学ぶ
12	Session 11: 6 チームワーク	日本独特のチームワークの重要性を学ぶ 教科書の基礎知識を学ぶ
13	Session 12: 6 チームワーク	宿題確認 日本での基本ビジネスマナーを学ぶ ケーススタディを学ぶ
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール（改訂版） 武田聡子・長崎清美著
参考文献・資料等	日本電御就職活動ケーススタディ
備考	